

## ●ゆめ風基金とは

1995年、阪神淡路大震災の被災障害者の救援を目的に永六輔さん、小室等さんら著名人と障害者、支援者が呼びかけて発足。

「一番困っているところにすばやく届ける」ことをモットーに、これまで国内外の被災地におよそ5億8千万円の救援金を届けました。

東日本大震災ではいち早く障害者救援活動を開始。この度の能登半島地震では「ゆめ風ネット加賀」を中心に様々な団体と連携し、障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。

災害の度に障害者や高齢者の救出が逃げ遅れたり、避難所で暮らせないなどの「人災」が繰り返されます。そうした状況を防ごうと障害者の立場から「防災提言」の発信など、日常の中での障害者防災にも取り組んでいます。また、全国39の障害者団体とネットワークを結び緊急時に備えています。(2024.9月現在)

### \* 救援金の振込先 \*

#### 【郵便振込】

口座番号 00980-7-40043 加入者名 ゆめ風基金

#### 【銀行振込】

支店:099 口座番号:0040043(当座) ユメカゼキキン  
※領収証が必要な方は、振り込み日と銀行名、お振込者のお名前と住所をメールかFAXでお知らせください。

#### 【クレジットカード】

VISA・mastercardでご寄付の場合は、ゆめ風基金のホームページ「今すぐ寄附」をご覧ください。JCBなど、その他のカードでのご寄付の場合は、お手数ですがゆめ風基金までご連絡ください。

### \* ゆめ風基金のSNSやウェブサイト \*



Website



Facebook



YouTube



Instagram

被災地の復興は長期に渡ります

# 能登半島地震 被災障害者への支援に ご協力をお願いします



2024年6月17日輪島市にて

NPO法人 ゆめ風基金(認定NPO法人)

〒533-0033

大阪市東淀川区東中島1-13-43-106

TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662

<https://yumekazek.com/>

[info@yumekazek.com](mailto:info@yumekazek.com)



2024年1月1日午後4時10分

## 石川県能登半島地方を震源とする震度7の地震を観測

天候にも恵まれ穏やかな年明け。ある施設では、みんなでおせち料理を食べ入浴の準備をしていました。また別のグループホームでは、仲間たちと団らのひと時を過ごしていました。

しかし、その穏やかな時間は地震によって一瞬で失われ、当たり前だと思っていた日常は一変しました。

### ●救援活動

発災後ゆめ風基金では、金沢市にあるひまわり教室「ゆめ風ネット加賀」を中心に、様々な団体と連携し支援物資の運搬を開始。

現在は、震災によって被害に遭った福祉事業所の修繕、什器備品の購入、グループホームの建替えに関する支援など、障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。



↑ポリタンクや紙皿などの日用品の他に、おりがみ・パズル・ぬりえなども届ける。  
(穴水市のグループホームにて)



↑支援物資と一緒に激励の寄せ書きを届けるなど、被災地の事業所との交流も大切にしている。(七尾市の事業所にて)



### ●七尾市の事業所にて

左：地震により転倒し、壊れた空き缶プレス機。

右：救援金で新たにプレス機を購入。

## 災害は忘れる間もなくやってくる…

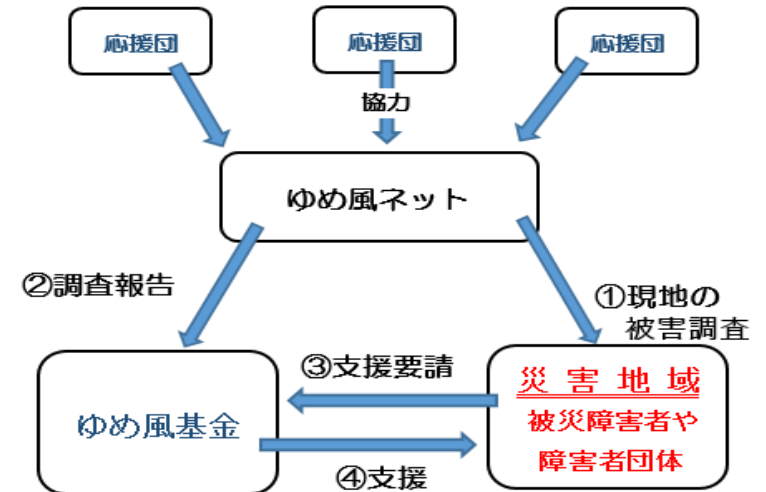
### 「ゆめ風応援団」になっていただけませんか？

ゆめ風基金では、災害発生たびに地域の行政や社会福祉協議会、障害者関係団体と連絡を取り、情報把握を早期に行い支援を行ってききましたが、それでも支援ができたのは一部でしかないと思っています。

そこで、ふだんから「ゆめ風基金」のことを頭においてもらい、災害が起これば地元で困っている障害者がいないかを確認し、困っている障害者が居れば、その情報をゆめ風基金に伝えてくれる団体「ゆめ風応援団」を増やしたいと思っています。会費は必要ありません。

ゆめ風基金に寄せられた寄付金と、ネットワークを活用して、災害時の障害者の困りごとを少しでも減らせたらと考えています。

### ●災害発生時の動き



※ゆめ風ネットとは各都道府県に1～2カ所ある、ゆめ風基金の協力団体であり、運営会員です。

●申し込み、お問い合わせは、ゆめ風基金までご連絡ください。

## ● 発災時の様子② ●



輪島市：福祉避難所として被災した地域住民も受け入れる

## ● 発災時の様子① ●

被災地では、ライフラインが寸断され、断水や停電などが起きました。余震が続き不安の中、慣れない環境で不自由な生活を余儀なくされました。



七尾市：闇夜が迫る中、屋外へ避難。



七尾市：施設の裏の地面が崩壊。



志賀町：地割れし陥没する敷地。



内灘町：液状化で道路が波打つ。



輪島市：地震の翌朝。余震が続く中廊下で過ごす。



七尾市：廊下には大きな段差が。



羽咋市：トイレの排水ができず、新聞を丸め処理をする。



輪島市：約2か月断水が続き、入浴は道の駅に設置された自衛隊風呂を利用。



能登町：休憩室のエアコンも外れる。



輪島市：ガラスが散乱する作業室

# 豪雨により更なる被害…度重なる苦境

元旦に発生した地震により甚大な被害を受けた奥能登地方では、9月20日の深夜から雨が降り出しました。翌21日、線状降水帯が発生。朝から激しい雨が短時間で集中して降り続き、珠洲市、輪島市、能登町には「大雨特別警報」が発表されました。その後も雨は降り続き、河川の氾濫、土砂災害や浸水などの被害が出ました。



河原田川の氾濫で冠水した石川県輪島市の市街地  
2024年9月21日毎日新聞より



大雨で浸水した輪島市の仮設住宅  
2024年9月22日読売新聞より



民家になだれ込む土砂  
2024年9月22日北國新聞より



普段は静かな流れの南志見川は姿を変えた  
2024年9月23日毎日新聞より



土砂や流木に覆われ、捜索活動が続けられる  
塚田川付近の現場 2024年9月23日読売新聞より

近年、線状降水帯による水害被害が多発し、全国各地で甚大な被害をもたらしています。

今回の能登豪雨では、1日で1か月の平均降水量の2倍の雨が降りました。